

令和6年度

# 全国学力・学習状況 調査結果の概要



角田市教育委員会

## 1

# 調査結果の概要

今年度実施しました『全国学力・学習状況調査』の結果についてお知らせいたします。調査対象は、小学校6年生と中学校3年生です。角田市教育委員会といたしましては、各学校と情報を共有しながら、児童生徒一人一人の学習状況に応じた学習指導の改善・充実に取り組んでいきたいと考えております。今回、お知らせする結果については、市内の小・中学校の学習状況の傾向を示しております。地域や保護者の皆様の深いご理解と温かなご協力の程よろしく願いいたします。

## (1) 調査の目的

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## (2) 調査実施日 令和6年4月18日（木）

## (3) 調査対象

小学校6年生	5校169人
中学校3年生	2校223人

## (4) 調査内容

- ① 教科に関する調査      <小>国語、算数    <中>国語、数学
- ② 児童生徒質問紙調査      学習意欲、学習・生活習慣、規範意識、自己有用感等

## (5) その他

本調査は、市内小・中学校の傾向を示していますが、結果については、様々な学力の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

## (6) 教科に関する調査結果

### ① 小学校における平均正答率比較 〔%〕

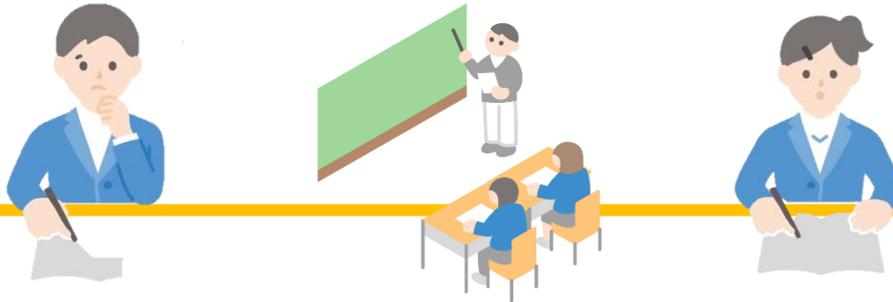
	角田市	宮城県	全国
国語	62	65	67.7
算数	55	57	63.4

### ② 中学校における平均正答率比較 〔%〕

	角田市	宮城県	全国
国語	51	55	58.1
数学	42	46	52.5

※宮城県の数値は仙台市を除く調査結果です。

## 2 教科に関する調査結果の分析と考察



下記は、角田市内の小学校6年生、中学校3年生の全国学力・学習状況調査における『平均正答率（全体と観点別）』と『正答数分布状況のグラフ』です。以上の結果を分析し、考察しております。

なお、正答数分布状況のグラフについては、縦軸が人数の割合(%)、横軸が正答数を表しており、市内の児童・生徒の人数の割合は棒グラフで表記してあります。比較のために全国の割合を折れ線グラフ（全国→◆、県→▲）として示してあります。

『考察』については、平均正答率における全国との比較や、グラフを基にした正答者数分布状況、そして、『問題別解答類型』の誤答分析から明らかとなった児童・生徒のつまずきポイント、今後の指導の重点について記載しました。

（※『問題別解答類型』については、膨大な資料のため掲載を割愛しています。）

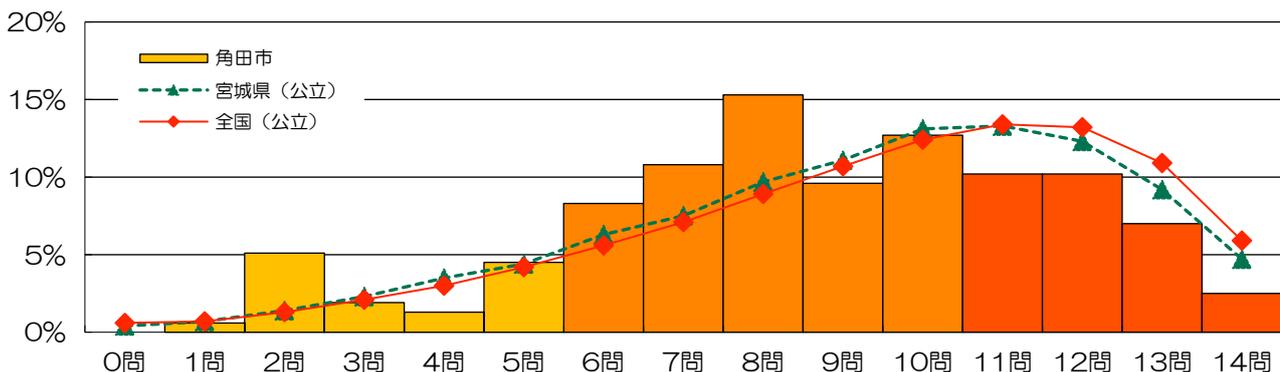
### （1）小学校 国語 〔%〕

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
国語	62.0	65.0	67.7	62.7	66.7	69.8	61.2	63.6	66.0

#### 考察

全体の平均正答率は、全国を5.7ポイント下回りました。観点別の平均正答率では、「知識・技能」が、全国を5ポイント以上、下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、8問の正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「話すこと・聞くこと」に関する選択式の問題において、全国を平均正答率とかけ離している状況が見られ、昨年度同様、「話すこと・聞くこと」に関する指導事項に課題があることが分かりました。今後、インタビュー等、目的や意図に応じて集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる力を高めていく指導を充実させていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数14問



## (2) 小学校 算数

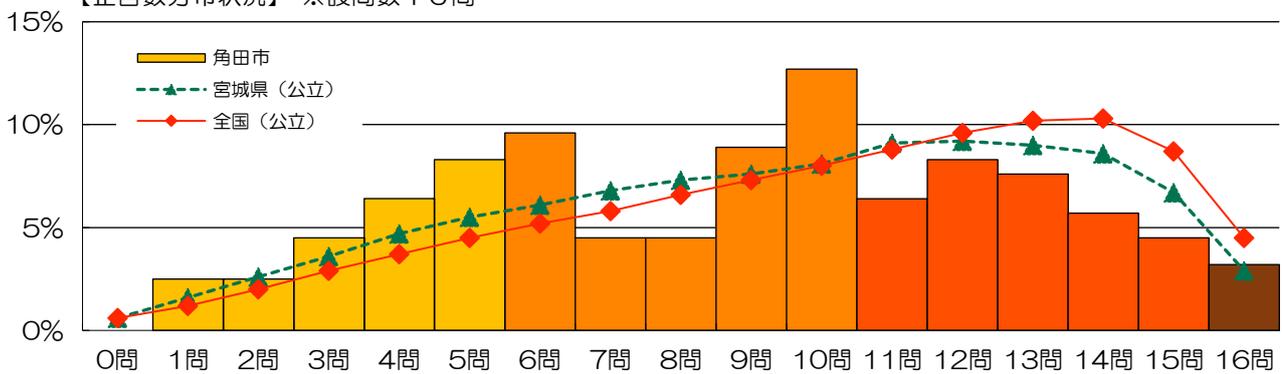
(%)

項目 教科	全体			数と計算・図形			変化と関係・データの活用		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
算数	55.0	57.0	63.4	56.9	60.3	66.1	51.4	50.9	57.5

### 考察

全体の平均正答率は、全国を8.4ポイント下回りました。領域別の平均正答率では、「数と計算・図形」「変化と関係・データの活用」ともに、全国を5ポイント以上、下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、10問の正答者数が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「計算に関して成り立つ性質」「除数が小数のわり算」「速さの意味」「角柱の底面や側面」に関する問題の平均正答率が、全国と大きくかい離している状況にありました。特に、「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題」が、全国を10ポイント以上、下回りました（※下記参照）。今後、「数と計算」の領域を中心として、求め方や求めた答えを、式や言葉、数を用いて記述できる力を高める指導を充実させていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数16問



【小学校の算数で正答率が県・全国を大きく下回った問題】

2

トラック1台で、350 kgの米を運ぶことができます。



(1) まず、あやのさんたちは、このトラック2台では、何kgの米を運ぶことができるかについて考えました。

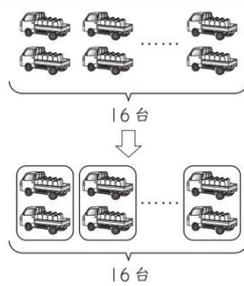


$350 \times 2 = 700$ で、  
700 kgの米を運ぶことができます。

次に、このトラック16台では、何kgの米を運ぶことができるかについて考えています。

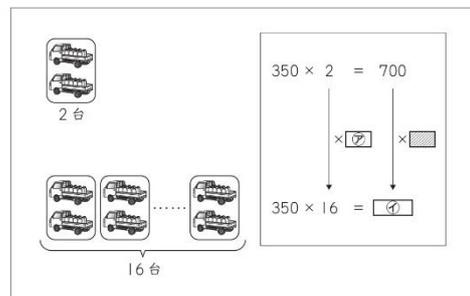


式は  $350 \times 16$  です。筆算をしようかな。



筆算をしなくても、  
 $350 \times 16$ の答えを求めることができます。  
2台のときの米の重さをもとにすれば、16台のときの米の重さがわかります。

そこで、あやのさんたちは、下の図のように、 $350 \times 2 = 700$ であることをもとに、 $350 \times 16$ の積の求め方についてまとめました。  
このとき、 $350 \times 16$ のかける数「16」が、 $350 \times 2$ のかける数「2」の何倍になっているかに着目しました。



上の①に入る数に着目すると、 $350 \times 16$ の積②は、どのように求めることができますか。

①に入る数に着目したときの②の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、①に入る数をどのように求めたかがわかるようにしましょう。

また、②に入る数も書きましょう。

#### 【正答例】

##### 《求め方》

$16 \div 2 = 8$ で、かける数の16は、かける数の2の8倍です。 $350 \times 16$ の積は、 $350 \times 2$ の積の8倍だから、 $700 \times 8 = 5600$ です。

※正答の条件としては、次の「16が2の8倍であることを表している式や言葉」と「700の8倍になることを用いて、 $350 \times 16$ の積②を求める式や言葉」の全てを書き、②を5600と書いていること。

《答え》① 5600

### (3) 中学校 国語

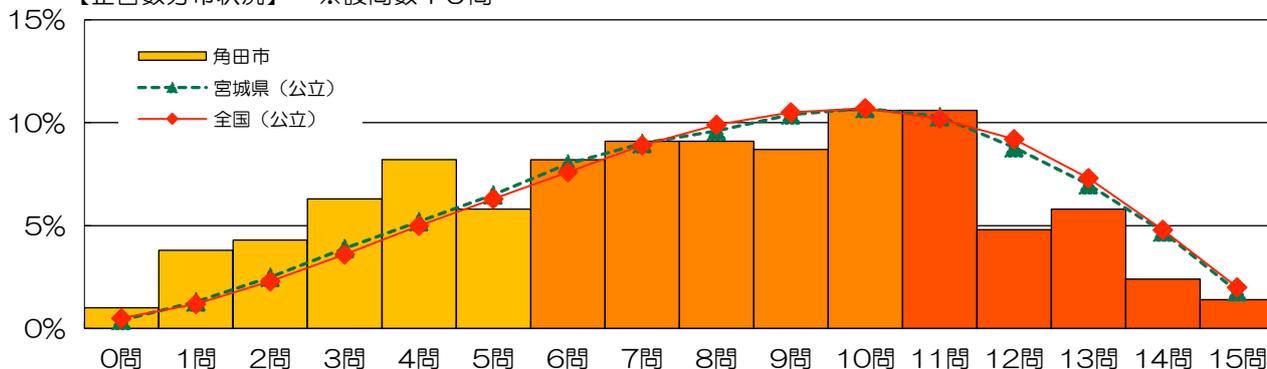
(%)

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
国語	51.0	55.0	58.1	53.5	58.2	62.0	49.5	49.0	55.4

#### 考察

全体の平均正答率は、全国を7.1ポイント下回りました。観点別の平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに、全国を5ポイント以上、下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、10～11問の正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「話すこと・聞くこと」の内容において、資料を活用し、自分の考えを分かりやすく伝えるように話すための工夫を問う問題や、「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する問題の正答率において、本市と全国とのかい離が大きく見られました。今後、質問したり、資料を用いたりしながら、自分の考えを分かりやすく伝えていく少人数による対話や協議、短歌等の比喻や反復、体言止め等の特徴ある表現技法を理解する学習を意図的、積極的にを行うといったような指導を強化していきます。

【正答数分布状況】 ※設問数15問



### (4) 中学校 数学

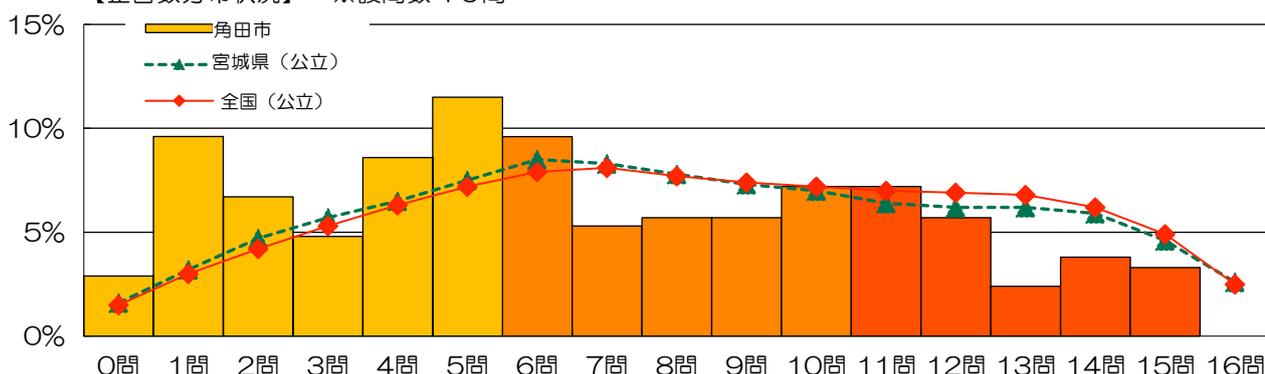
(%)

項目 教科	全体			数と式・図形			関数・データの活用		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
数学	42.0	46.0	52.5	36.5	40.0	47.1	48.0	53.0	58.1

#### 考察

全体の平均正答率は、全国を10ポイント以上、下回りました。領域別の平均正答率では、「数と式・図形」「関数・データの活用」のいずれも、全国を10ポイント以上下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、5問と1問のみの正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「確率」「三角形の合同証明」に係る問題の正答率において、本市と全国とのかい離が大きく見られました（※次頁参照）。今後、「D データの活用」の領域における確率を用いて不確定な事象を捉え、考察したりする力や、「B 図形」の領域における三角形の合同条件などを基にして、事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて証明する力等を高めていく指導を強化していきます。

【正答数分布状況】 ※設問数16問



【中学校の数学で正答率が県・全国を大きく下回った問題】

- 9 線分ABがあります。線分AB上に点Cをとり、AC、CBをそれぞれ1辺とする正三角形PAC、QCBを、線分ABについて同じ側につくります。そして、点Aと点Q、点Bと点Pを結びます。ただし、点Cは点A、Bと重ならないものとします。  
 桃子さんは次の図1のように点Cをとり、健太さんは次の図2のように線分ABの中点に点Cをとりました。

図1

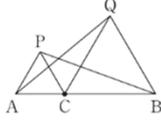
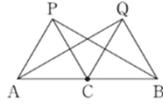
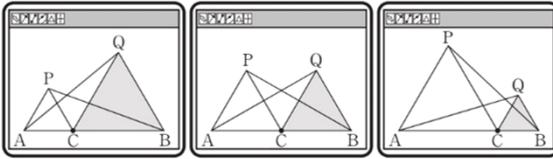


図2

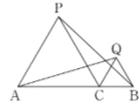


二人は図1と図2を観察し、線分や角についていえることがないか気になりました。そこで、コンピュータを使って点Cを動かしながら調べました。



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 桃子さんは、コンピュータを使って調べたことから、点Cが線分AB上のどこにあっても、 $AQ = PB$ になると予想しました。  
 桃子さんの予想した $AQ = PB$ がいつでも成り立つことは、 $\triangle QAC \equiv \triangle BPC$ を示すことで証明できます。 $AQ = PB$ になることの証明を完成しなさい。



証明

$\triangle QAC$ と $\triangle BPC$ において、

【正答例】  
 説明(例) 正三角形の辺はすべて等しいから、  
 $AC = PC$  ……①  
 $CQ = CB$  ……②  
 正三角形の1つの内角は $60^\circ$ より、  
 $\angle ACQ = 60^\circ + \angle PCQ$   
 $\angle PCB = 60^\circ + \angle PCQ$   
 よって、 $\angle ACQ = \angle PCB$  ……③  
 ①、②、③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、  
 $\triangle QAC \equiv \triangle BPC$

合同な図形の対応する辺は等しいから、  
 $AQ = PB$

【求め方】 合同を証明するためには、次の成り立つ事柄(a)～(d)とそれぞれの根拠を記述する必要があります。

成り立つ事柄	根拠(例)
(a) $AC = PC$	正三角形の辺はすべて等しい
(b) $CQ = CB$	
(c) $\angle ACQ = \angle PCB$	正三角形の1つの内角は $60^\circ$ より、「 $\angle ACQ = 60^\circ + \angle PCQ$ 」「 $\angle PCB = 60^\circ + \angle PCQ$ 」
(d) $\triangle QAC \equiv \triangle BPC$	2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい



# 3 児童生徒質問紙調査結果の概要

## (1) 児童生徒質問紙調査結果の概要

※枠内の数字は回答した児童・生徒の割合<上位 2 段階の肯定的な回答を集約した割合>  
太文字下線部の箇所は、県平均（仙台市を除く）、全国平均を共に上回った項目

### ① 基本的な生活習慣・人間関係について 〔%〕

	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	朝食を毎日食べていますか	92.1	93.1	93.7	86.7	91.5	91.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.8	82.1	82.9	76.7	82.6	80.7
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	<u>92.7</u>	91.1	91.6	88.6	93.7	92.5
4	友達関係に満足していますか	<u>91.6</u>	89.9	91.1	89.1	89.4	90.1
5	困りごとや不安のある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	64.3	62.7	67.1	61.9	64.2	67.5

#### 考察

「友達関係に満足している」と回答した割合は、小学校は全国平均よりも高く、中学校もほぼ同等の傾向にあり、より良い交友関係を築くことができている様子がうかがえます。  
起床時刻の安定について小学校が全国平均よりも高い割合を示す一方、就寝時刻の安定については小・中学校ともに全国平均を下回りました。基本的な生活習慣（項目 1、2、3）については、特に中学校がすべて全国平均をやや下回っている上、強い肯定の割合も低い傾向にあり、今後もよりよい習慣付けが図られるよう促していくことが必要です。

### ② 志教育、自己肯定感等について 〔%〕

	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	自分には、よいところがあると思いますか	<u>84.2</u>	79.2	84.1	75.3	80.8	83.3
2	将来の夢や目標を持っていますか	<u>85.4</u>	82.8	82.4	64.7	67.1	66.3
3	人が困っているときは、進んで助けていますか	<u>93.9</u>	91.2	92.7	88.6	88.9	90.1
4	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	<u>97.0</u>	96.2	96.7	93.4	95.0	95.7
5	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	<u>97.0</u>	95.0	95.9	92.4	95.2	95.2
6	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	<u>93.3</u>	90.3	91.7	87.6	88.0	89.8
7	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	78.2	81.0	83.5	<u>77.6</u>	75.8	76.1

#### 考察

小学校においては、7 項目中 6 項目が全国平均を上回りました。特に「自分には、よいところがある」と回答する割合は年々高まっており、着実に自己肯定感が育まれている様子がうかがえます。また「将来の夢や目標を持っていますか」の質問項目では、強い肯定の割合でも全国平均を上回り、志教育の成果の表れと考えています。中学校においては、地域や社会への貢献意欲（項目 7）において、肯定的な回答の割合が昨年度よりも 10 ポイント以上高くなり全国平均を上回りました。  
今後も、地域貢献に資する学習機会を充実させ、自己肯定感や自己有用感、幸福感を高めるための教育活動の工夫をより一層進めていくことが必要です。

③ 家庭での学習・生活について

[%]

	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）※小学校1時間以上、中学校2時間以上	49.7	52.5	54.6	15.3	21.4	31.7
2	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）※小学校1時間以上、中学校2時間以上	<u>51.5</u>	48.8	48.6	22.4	30.6	36.2
3	学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間PC、タブレットなどのICT機器を勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）※小・中共に1時間以上	13.9	21.9	19.8	11.4	19.2	16.6
4	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか※小・中共に2時間以上	55.7	56.7	49.2	<u>59.9</u>	51.0	48.9
5	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）※小・中共に2時間以上	33.3	38.6	33.8	<u>71.0</u>	58.3	55.9

考察

学習時間については平日、休日を問わず小・中学校共に短い傾向にあり、特に中学校においては全国平均を大きく下回りました。ICT機器を活用した家庭学習の時間についても、全国平均を下回りました。一方、1日当たりのゲームの時間やSNS、動画視聴の時間は、小・中学校共に長い傾向にあり、特に中学校においては全国平均を大きく上回りました。

以上の傾向は従来から続いており、角田市教育委員会では今年度新たに「家庭学習の充実」を重点の一つに掲げました。児童生徒が主体的かつ計画的に家庭学習を進める習慣を身に付けられるよう、今後も働きかけを行っていくことが必要です。

④ 学校での学習・生活について

[%]

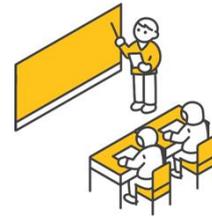
	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	学校に行くのは楽しいと思いますか	<u>87.9</u>	83.5	84.8	82.4	83.3	83.8
2	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	72.1	73.8	75.8	71.9	76.6	76.2
3	授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりしていますか	<u>88.5</u>	84.7	83.7	70.9	80.1	79.0
4	国語の授業の内容はよく分かりますか	<u>90.9</u>	87.5	86.3	83.8	85.3	82.7
5	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	<u>84.8</u>	78.5	82.1	57.2	75.9	75.7
6	小5、中2までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。（週1回以上）	<u>93.4</u>	86.8	85.5	91.0	93.0	89.0

考察

「学校に行くのは楽しい」の項目では、小学校は全国平均を上回り、中学校もほぼ同等の割合でした。国語や算数・数学において「授業内容がよく分かる」の項目では、小学校では全国平均に比べて高い傾向にありますが、中学校では数学において全国平均を大きく下回りました。項目6の結果から、ICT機器を活用した授業は小・中学校共に積極的に進められており、特に中学校は昨年度から10ポイント以上向上するなど活用が広がっています。

今後も、合い言葉である「学びって楽しい」を基に更なる授業改善に努め、「楽しくて分かる授業」の実現を図っていくことが必要です。

## 4 角田市教育委員会の取組



角田市学力向上推進委員会を組織し、小中学校が連携して授業改善をはじめとする方策に組織的に取り組みます。

- (1) 学校と教育委員会の担当で組織する「角田市学力向上推進委員会」で、児童生徒の実態等についての情報共有を行い、具体的な学力向上に向けた方策に取り組みます。また、中学校区ごとに9年間を見通した取組について協議し、小・中の連携を図ります。
- (2) 宮城県教育委員会指定事業「学力向上マネジメント支援事業」「共に学ぶ教育推進モデル事業」に取り組んだ成果を各種研修や授業実践に生かします。

標準学力調査を実施します。

小・中学生を対象とした、標準学力調査を実施し、本市児童生徒個々の学力・生活習慣等の現状と課題を明らかにした上で、授業改善や学び直しの実施など、対策を講じます。

大学等と連携し、校内研修の講師を派遣するなどの支援を行います。

宮城教育大学（平成24年2月連携協力に関する覚書を締結）をはじめとする教育機関・民間企業などから専門家を招へいし、専門的かつ先進的な指導を受けながら実践的な研究授業を行い、教員の授業力や指導力の向上を図ります。

ICTの効果的な活用を図り、児童生徒一人ひとりに個別最適な学び・楽しい学びの実現を目指します。

- (1) 児童生徒一人ひとりに配布した、タブレット端末（Chromebook）を、授業だけでなく、家庭学習等にも活用します。
- (2) デジタルドリルの活用を図り、児童生徒が主体的に学び直しや個々に応じた学習ができるよう支援します。

学校図書館支援員・特別支援教育支援員を配置し、学校及び児童生徒をサポートします。

- (1) 学校図書館支援員の配置（令和6年度は2名）により、学校図書館利用の促進や学校図書館の整備に努め、読書に親しむ環境を整えます。
- (2) 児童生徒一人ひとりのニーズに合った教育活動の支援のために、各学校に特別支援教育支援員を配置（令和6年度は31名）し、個に応じた指導の充実に努めます。

積極的に情報を公表し、学校・家庭・地域の連携を図ります。

生活習慣や学習習慣等の課題について、必要な情報を積極的に公表し、学校・家庭・地域が連携・協力しながら改善に向かうよう努めます。

適応指導教室を設置し、様々な「学び」の形を支援します。

平成30年6月より、適応指導教室（名称：Cocoはうすかくだ）を開設し、児童生徒のニーズに合ったサポートを行い、児童生徒の学びを支援しています。

